

平成29年度第11回登別市教育委員会会議録

日 時 平成30年2月22日（木）午後4時30分

場 所 登別市民会館 小会議室

第11回 教育委員会議事日程

- 1 日 時 平成30年2月22日（木）午後4時30分
- 2 場 所 登別市民会館 小会議室
- 3 議 案 報告第10号 市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理について
報告第11号 登別市学校給食センター運営委員会委員の委嘱に係る臨時代理について
議案第17号 第3次登別市子ども読書活動推進計画の策定について
議案第18号 登別市立図書館のめざすものの策定について
議案第19号 登別市小中一貫教育基本方針について
- 4 情報提供 (1)教育行政執行方針について
(2)平成29年度通学合宿みんなで学ぶ「子ども村」の実施結果について

5 出席者

(教育委員会5名)

教育長 武 田 博
委員 垣 内 登紀子
委員 森 口 達
委員 赤 井 秀 輝
委員 堅 田 裕

(事務局9名)

| | |
|--------------|---------|
| 教育部長 | 佐 藤 史 彦 |
| 教育部参与 | 野 崎 均 |
| 教育部次長 | 橋 場 太 |
| 総務部グループ建築主幹 | 出 口 利 美 |
| 学校教育グループ総括主幹 | 田 中 道 郎 |
| 学校教育グループ学務主幹 | 小野島 晶 |
| 社会教育グループ総括主幹 | 安 部 直 也 |
| 学校給食センター長 | 小 森 仁 |
| 図書館長 | 綿 貫 亨 |

○武田教育長　それでは、本日の委員会は、5名全員が出席されておりますので、有効に成立していることをご報告します。これより、平成29年度第11回教育委員会を開催します。本日の議事は、報告2件、議案3件になります。それでは、早速議事に入ります。報告第10号「市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理について」事務局から説明をお願いします。

○橋場教育部次長　はい。それでは議案書1ページをお開きください。報告第10号「市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理の報告」になります。本報告は、平成30年第1回市議会定例会の提出議案であります平成29年度一般会計補正予算（第6号）、学校給食事業特別会計補正予算（第1号）、平成30年度一般会計予算、及び学校給食事業特別会計予算について、登別市教育委員会教育長に対する事務委任規則第3条の規定に基づき、2ページのとおり臨時代理を行いましたので、その内容を報告し承認を求めます。

別冊の右上に「報告第10号資料」と書かれた冊子をご覧ください。1ページになります。初めに、平成29年度登別市一般会計補正予算（第6号）になります。歳出ですが、ほとんどが決算見込みによる減額となっています。数字の大きなところで、小中学校情報教育推進事業費の△167万1千円は実物投影機26台の購入に係る経費になりますが、入札による残額になります。市民会館整備事業費の△259万2千円は屋外高圧受電設備の中にありますキュービクルの更新に係る経費になります。これも入札残となっています。幌別西小学校耐震化・改修事業費の△701万4千円と移動図書館車更新事業費の△174万8千円についても入札残となっています。それからプラス補正となります学校教育実施等経費の小学校の50万円と中学校の250万円、図書館運営管理経費の40万円は、燃料費単価の値上げにより生じているものです。

次2ページの歳入になります。財産収入につきましては基金の利息になります。寄附金は登別民謡連合会と鷺別レクダンスサークルから合わせて3万1千円の寄附となっています。また、市債については、歳出の減に伴う減となっています。次に3ページになります。地方債の補正になります。歳入の市債に係るものですが、歳出の減に伴いまして変更となっています。

次に4ページの学校給食事業特別会計の補正になります。補正の要因は平成29年4月1日付けの人事異動に係るものです。また、歳入は給食会計の人件費になり

ます。一般会計で負担するルールになっておりますので、その繰り入れ額の減となっております。

次に5ページになります。平成30年度登別市一般会計予算になります。総額では209億6,500万円となりました。29年度と比較して4.7%の増額となっております。7ページになりますが、教育費に関しては2億6,325万7千円の増、率にして30.7%の増となっております。増の大きな要因は富岸小学校と幌別西小学校の耐震化・改修事業で合わせて約2億7,500万円、それから市民会館大ホール音響設備の更新で約2,800万円となっております。

次に教育費の主な事業になります。新規の事業、それから内容が大きく変更になった事業について説明します。まず、10ページ9番「小中学校情報教育推進事業費」がありますが、この経費はパソコンのOSのウインドウズ7が平成32年1月でサポートが終わりますので、29年度からの3年間で更新を行なうものです。29年度はこのパソコンの更新が257台と実物投影機26台の購入がありましたが、30年度は実物投影機がなくなりパソコンの更新が194台となっております。11ページの11番「言語障害通級指導教室運営経費」については、30年度から鶯別小学校にも通級教室を開設します。児童数の見込みとしては、幌別小学校で幼児部25人、小学部36人、鶯別小学校で幼児部6人、小学部20人となっております。体制としては幼児部が市の嘱託員、小学部は学校の先生となっておりますが、嘱託員については鶯別小学校では2名を予定しています。今週、24日(土)に面接試験を行い決める予定です。予算としては29年度と比較して約29万9千円の増となっております。次に12ページの15番「教育指導研究奨励等経費」になります。30年度から小学校において「特別の教科 道徳」が始まりますので、道徳の教科書と指導書、DVDの購入費が主な増要因となっております。次に14ページの2番「市民会館整備事業費」になります。兼ねてからの要望であった大ホールの音響設備の更新になります。予算額は2,800万円となっております。前年度予算の1,158万9千円は先ほど説明をしましたキュービクルの更新費用となっております。次に16ページ4番「鶯別小学校落成記念式典経費」になります。29年度ですべての工事が終わりますので、9月14日に記念行事を行うこととしています。式典は教育委員会、祝賀会は協賛会で行うことで予定をしております。予算については協賛会への交付金となっております。次に17ページの2番「小学校受変電設備整備

事業費」になります。30年度は幌別西小学校の耐震化・改修工事と合わせてキュービクルの更新を行うこととしています。次に18ページには3本の大きな事業が掲載されています。幌別西小学校の耐震化・改修事業は2か年の工事を予定しています。30年度が40%と31年度が60%の割合となっています。富岸小学校は30年度のみ工事です。登別小学校は30年度が実施設計、31年度に工事の予定となっています。次に21ページ上の方の2番「鷺別中学校グラウンドフェンス等整備事業費」になります。現在室蘭側にはフェンスが設置されていますが、相当傷んでおりますので張替えを行います。また、元の小学校が解体され駐車場として整備を行っておりますが、ボールが飛んできて車両等に当たることが予想されますのでフェンスの整備を行います。次に29ページの4番「文化伝承館運営管理経費」になります。屋上防水工事を行いますので、その経費が増えています。次に31ページ7番と8番になります。「アイヌ文化講座経費」と「アイヌ民族文化祭2018補助金」ですが、この経費は29年度までは保健福祉部で所管しておりましたが、文化という視点から教育委員会に移管されてきた事業になります。「アイヌ文化講座経費」は、行政が主催する事業でアイヌに関する講演会やアイヌ刺繍等の体験講座を行います。また、「アイヌ民族文化祭補助金」は、アイヌ協会が実施する文化祭費用の一部を補助するものです。次に32ページの1番「子ども健康・体力改善事業費」になります。予算額が減っておりますが、これは指導者の学校への派遣時間数を効率的に整理を行いまして結果として減少につながったものです。内容については、今まで以上に運動の効果が上がるよう基礎となるコーディネーショントレーニングを導入しながら取り組むこととしています。次に34ページ9番「東京オリパラで夢を育むスポーツ推進事業費」ですが、30年度は卓球で苫小牧市出身の丹羽孝希選手を呼ぶこととしております。丹羽氏は2013年の全日本選手権大会のシングルスにおいて、決勝で水谷選手を下し優勝の経験や2012年のロンドンオリンピックでは団体戦で8位、2016年のリオデジャネイロでは団体戦で水谷、吉村両選手とともに銀メダルをとっています。いま張本選手というスーパースターが表れて卓球界を盛り上げてくれていますので、沢山の市民が参加することに期待をしています。それから、最後のページになります。平成30年度学校給食事業特別会計予算になります。給食を提供する人数は、小・中学校、明日中等教育学校の前期課程、保育所で合計が4,060人となり29年度よりも134名の減となっ

ています。給食費については賄い材料費等の値上げにより大変厳しい状況となっておりますが、工夫をしながら30年度も値上げを行わずに対応していくこととしています。以上です。

○**武田教育長** 　ただ今報告第10号について説明がありました、ご質疑ございませんか。

（「ありません」の声あり）

○**武田教育長** 　主なところを拾って説明していただきましたがよろしいですか。

（「はい」の声あり）

○**橋場次長** 　追加の情報ですけれども、富岸小学校と幌別西小学校の耐震化なのですけれども、今29年度の国の補正予算がつきまして、今は第6号補正の説明をしましたけれども、第7号の補正で要求して繰り越しで30年度に実施するという動きになっています。市議会の方も追加提案をしながら対応する予定となっています。そうすることで市の持ち出し分が起債に代わって約5,600万円が活用できると、又それに対して交付税もあるというような特典がありますので、補正予算債を利用しながら動く予定です。

○**武田教育長** 　事業の執行時期は変わらないのですね。

○**出口総務グループ建築主幹** 　そうです。

○**武田教育長** 　予算のやりくりだけですね。

○**出口建築主幹** 　はい。

○**武田教育長** 　分かりました。何かございますか。よろしいですか。

（「はい」の声あり）

○**武田教育長** 　それでは、報告第10号については、承認することとしてよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○**武田教育長** 　それでは、報告第10号については承認します。次に報告第11号「登別市学校給食センター運営委員会委員の委嘱に係る臨時代理について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

○**小森学校給食センター長** 　報告第11号は、登別市学校給食センター運営委員会委員の委嘱に係る臨時代理についてです。議案書の3ページから5ページになります。報告第11号は、登別市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

1月18日開催の第10回会議で、学識経験者2名の委員について承認をいただいたところですが、その後に校長会から推薦していただいている委員2名についても変更になっていることが分かりましたので、改めて校長会から推薦をいただき、登別市教育委員会教育長に対する事務委任規則第3条第1項の規定に基づき臨時代理を行いましたので、その内容を報告し、承認を求めるものであります。

後任の委員は、鷺別中学校校長の嶋原洋二氏と幌別東小学校校長の坂本博氏になります。任期につきましては、先の会議で承認された委員と同様の前任者の残存期間になりまして、平成30年2月15日から平成30年11月30日までの期間となります。以上報告しますので、よろしく申し上げます。

○**武田教育長** ただ今説明がありました報告第11号について、ご質疑ございませんか。

(「ありません」の声あり)

○**武田教育長** それでは、報告第11号については、承認することとしてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○**武田教育長** それでは、報告第11号については承認します。次に議案第17号「第3次登別市子ども読書活動推進計画の策定について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○**綿貫図書館長** はい。議案第17号は「第3次登別市子ども読書活動推進計画の策定について」でございます。議案書は6ページになります。第3次登別市子ども読書活動推進計画につきましては、第9回定例教育委員会で情報提供をいたしましたとおり平成29年11月1日から11月30日までの期間においてパブリックコメントを実施しましたところ意見の提出はございませんでした。従いまして、第6回の定例教育委員会で示しました素案のとおり第3次登別市子ども読書活動推進計画を別冊のとおり策定しようとするものであります。以上でございます。

○**武田教育長** ただ今説明がありました議案第17号について、ご質疑ございませんか。

(「ありません」の声あり)

○武田教育長　それでは、議案第17号については、承認することとしてよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○武田教育長　それでは、議案第17号については承認します。次に議案第18号「登別市立図書館のめざすものの策定について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○綿貫図書館長　はい。議案第18号は「登別市立図書館のめざすものの策定について」でございます。議案書は7ページになります。登別市立図書館のめざすものにつきましては、第9回定例教育委員会で情報提供をしましてとおり平成29年11月1日から11月30日までの期間においてパブリックコメントを実施しましたところ意見の提出はございませんでした。従いまして、第7回の定例教育委員会で告示いたしました素案のとおり登別市立図書館のめざすものを別冊のとおり策定しようとするものであります。以上でございます。

○武田教育長　ただ今説明がありました議案第18号について、ご質疑ございませんか。

（「ありません」の声あり）

○武田教育長　それでは、議案第18号については、承認することとしてよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○武田教育長　それでは、議案第18号については承認します。次に本日配布いたしました追加議案第19号「登別市小中一貫教育基本方針について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○野崎教育部参与　はい。登別市小中一貫教育基本方針については、1月の定例教育委員会におきまして案を情報提供してございましたけども、文面等が整いましたので承認いただきたく、ご審議をよろしくお願いいたします。本市では、市民一人ひとりが自己の人格を磨き豊かな人生を送ることができるよう生涯にわたって学習し、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現を目指すという方向性を示しておりますけども、中でも学校教育におきましては、「知・徳・体」のバランスの取れた人材の育成を目指す教育の推進に努めているところでございます。そうした中、義務教育9年間を見通した教育を推進することで、本市教育の

さらなる質の向上と登別の子どもたちの確かな成長に結び付くことを強く期待しまして、方針を示しているところがございます。以前にも説明をしているところですが、2ページからは本市の子どもたちの現状における課題というものを示しているところと6ページには基本方針を示しております。7ページにはどのような形で推進するかというところで中段のあたりに文部科学省が示している小中一貫教育の形に則って私どももその形に則って進めていくのですが、その進めていく形態というのは下のところにある義務教育学校ですとか、小中一貫型小学校・中学校（併設型小学校・中学校）といわれる2つがあるのですが、本市においては既存の小中学校制度に基づきまして6・3制を基盤とした右側に示している併設型小学校・中学校による小中一貫教育というのを進めていきたいと。今ある形の中で外枠はいじらないで中身のところでつながっていくという形を執っていきたいというふうに示しているところがございます。8ページからは具体のもの、9ページは本市で取り組んでいる学校運営協議会とのつながりの中で進めていくという表記をさせていただいています。ご覧になっていただきまして、ご審議いただきご了承願えればと思いますのでよろしくお願いいたします。以上でございます。

○武田教育長 ただ今議案第19号について説明がありましたけども、ご質疑ございませんでしょうか。以前に中途でしたけども情報提供をしておりました。何かありませんか。

○赤井委員 小中一貫教育というと、小学校中学校間における一貫教育ということで見られがちですけども学校運営協議会という地域の親とかPTAとかそういう人達を含めて、1回下ろして地域に行くようになるのもっとコミュニティ・スクールを含めて広い部分で、昨日、一昨日と胆振の教育委員の会議で「開かれた教育課程」ということで相当頭に入れられたのですが、やはりコミュニティ・スクールを意識しながら教育委員会は「開かれた教育課程」をどういうふうに応援していくかということでも話されました。そういう点でいうと教育に求められている小中一貫教育と、今話されたことと、いままでやってきたことの絡みをうまくやっていただければうまくいくのではないかと。始まったばかりなのでそういうことを今思っています。

○**堅田委員** 中身が云々というよりも、これを市民の方々がどういう形で見たり感じたりするのかなというのがあるって、先日中学校の先生が小学校の授業を見に来ました。小中一貫教育のモデル地区ということもあって交流があるのだと思うのですが。市民の認識は低いと思います。ですからもう少し保護者の方ですとか、地域の方にこういうことをやっているのだよというダイジェスト版というか、簡単に分かるようなものが目に触れてもいいのかなという感じはします。

○**野崎参与** 各学校の方でも、例えば小学校と中学校で9年間でこういうことを守っていきましょねという1枚もののリーフレットを作っていたいて進めてもらっていることがあったりだとか、そういうような具体が示されていくと、これがこういうような形になっているねとか、小学校と中学校が一緒に取り組んでいるのですねとか伝わっていくのかな。なかなかこういうものだと実感が湧かないとか、どういうふうな形になっているのか伝わりにくいところがありますので、それぞれの中学校区でやることとか、中身とかも変わってくるところもあると思います。その5つの中学校区単位というところを具体で啓発していただくというところは学校の方に心がけていこうかなと今のお話を聞いて考えていました。

○**武田教育長** やはり情報提供をしっかりとしていないから、例えば昨年「地域とともにある学校づくり」を広報で掲載してもらいました。それと同じような形で登別の目指すべき小中一貫教育として知らせていくことを検討してもいいですね。或いは単独のリーフレットみたいなものを全戸配布で「登別が目指すべき教育の方向」とかというものを作ってもいいかなと思いました。いろいろ絡めながら教育に対する課題、家庭でやっていただく10か条なんかと合わせながらでもいいと思います。とにかく情報提供しないと理解してもらえないと、言葉だけ走ってもなかなか難しいということがあるので、「のぼりべつの教育」の中でも進めていきたいと思っているけどもやはり特別に提供するやり方が必要なのかもしれない。そういう意味では教育広報を使っていますから単独のリーフレットは作っていないですけども、そろそろそういうことを考えないとだめかなとも思います。ぜひ検討してみてください。

○**野崎参与** はい。

○武田教育長 いずれにしろ小中一貫というよりコミュニティ・スクールを含めて少し先を行っている取り組みですから、これから地域に開かれた或いは社会に開かれた教育課程という部分は、完全にコミュニティ・スクールをやってそこから情報を得なければ教育課程が成り立たないというところで急がれている部分もあるので、そういう意味からいくと教育課程を編成するにあたっての人材であったり組織であったり物であったり、そういう部分は各学校に提供できているかなと、そういうふうには思っています。如何にそれを委員会の中もそうですけれど町を挙げてそういう形態で取り組んでいるのだということを知っていただくことが必要だと思います。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○武田教育長 それでは、議案第19号については、承認することとしてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○武田教育長 それでは、議案第19号については承認することとします。以上で本日の議事は全て終了しました。その他、事務局から情報提供などありましたらお願いします。

【情報提供案件】

○野崎参与 はい。平成30年度の教育行政執行方針についてでございます。平成30年度の教育行政執行方針につきましては、1月の定例教育委員会において承認をいただき、本日の平成30年第1回定例市議会において、教育長より執行方針の説明を行っております。全文は、お手元の資料の通りです。前回説明の部分と意味合いの部分は変わらないのですが、若干表現を変えている部分を説明させていただきたいと思っております。まず2ページは、「地域とともにある学校づくり」を学校教育と社会教育の枠を超えて1番最初に持っているというところを前回説明させていただいたとおりの作りになっています。3ページからは学校教育についてですが、1つ目に持っているのが4ページの幼保・小・中連携でございます。「さらなる連携の強化に向け、教職員の合同研修や幼児と児童の交流を推進してまいります」という形で表しています。5ページの学力の向上に関わるのところでは、2行目「知識・技術を活用する力やテレビ・ゲーム機など

さまざまなメディアとの接触時間などに課題がありますので、教育課程課題検討委員会をとおして学習指導の工夫改善を図ってまいります」というような表記に変えています。また、英語教育のところもALT等の言葉を記載していましたが、今年度に限らないものですので、その表記を取っているところです。6ページの教職員の指導力の向上については、教育実践研究奨励校と幌別小学校の文部科学大臣表彰受賞の表記の順番を変えて、教育実践研究奨励校を前に持ってきて10校で取り組んでいくというような表記をしています。7ページの豊かな心の育成は少し明確にしまして、命を大切に作る心、他人を思いやる心は前回どおりなのですが、美しいものに感動する心の育成というところを付け加えています。8ページの安全指導については、前回耐震化の表記をしていたのですが、市政執行方針に表記がありましたので削除させていただきました。安全対策という表記は安全指導というふうにまとめています。また、防犯教室や情報モラル教育、消費者教育などの言葉を入れさせていただいています。10ページの特別支援教育は、登別市支援ファイル「ふくはうち」を活用するなどというところを入れてあります。教育と福祉が連携した取り組みを進めるというような表記を付け加えています。11ページのふるさと学習については、12ページ1行目の「地域に貢献しようとする意識の醸成」という表記を付け加えています。13ページの文化・スポーツの振興については、オリンピック・パラリンピックの開催を契機に子どもたちに夢を育む取り組みとしまして、30年度は「卓球競技において実技講習会等を実施してまいります」と記載しているところがございます。以上、前回と表記を変えている部分を説明させていただきました。平成30年度においても、執行方針の具体化を目指した様々な取組を進めてまいります。これからも、委員の皆様方のご意見、ご指導を宜しくお願いいたします。以上情報提供であります。

○安部社会教育グループ総括主幹 はい。社会教育グループからは、平成29年度通学合宿みんなで学ぶ「子ども村」の実施結果につきまして情報提供させていただきます。資料は本日お配りしております。まず、1枚目の方は3か年の実施状況になります。例年は小学校8校をAとBの2地区に分けまして、それぞれ年2回、合計4回を実施してございましたけども、29年度につきましては3回目が全地区を対象ということで、年3回実施しております。29年度の応募人数の総数205名に対して確定人数がキャンセルを含めて123名ということで、倍率で

1. 67倍となっています。2枚目は全地区を対象として実施した3回目のスケジュールになります。通常は夕食後に自由時間1時間を取りまして、そのあとに19時から体験プログラムを実施しておりますが、今回につきましては2日目と3日目の体験プログラムの時間枠を30分増やしまして、その中で新たなプログラムを実施しております。2日目は地域コーディネーターとかスポーツ推進委員とかALTとかモモンガくらぶにもお願いしまして、ネイチャーセンターの施設内にいろいろな遊び、登別郷土史かるたや木のキーホルダーづくりですとか長縄跳びとか、様々な遊びのブースを設けてましてそこを班ごとにウオークラリー形式で体験するというようなプログラムを実施しております。3枚目にあります北海道の子ども地域サポート推進事業と連携した取り組みということで実施をいたしました。それで通学合宿事業に関わっていますスタッフの地域コーディネーターですとかを対象に事前研修と事後研修というものを胆振総合振興局の主査を講師に実施しております。2枚目に戻りまして、3日目の体験プログラムは、資料の4枚目になりますが、市の防災担当の方と連携をしましてクロスロードゲームというカードゲーム方式の教材ですが、それを使って防災教育を実施しております。内容につきましては資料のとおりとなっております。来年度以降につきましてもいろいろな体験プログラムを実施ということでいろいろ検討して工夫しながら実施していきたいと考えております。なお、これまでA地区B地区として分けて実施していた場合は、学校区内で見知ったような友達で集まって、事業を実施する前から集団が形成されていたりということが見受けられていましたが、今回の全地区を対象とした場合には、その辺がこれまで以上にほかの学校の方ですとか異学年での交流ということがこの通学合宿事業の目的に合致したものになったのではないかというふうに捉えております。運営面の方ではバスの送迎で地区が2地区同時に行うのでバスが1日2台必要となってきます。そこで添乗員の職員の配置が増えてしまったりですとか、あと体験プログラムの実施は今まではALTとかモモンガくらぶにお願いをしておりましたが、これを職員の方で考えながら調整したいということをやっていたので、そこらへんで職員の負担というのが増加をしております。また、全8校を同時にやるということで学校の方のスケジュールの調整というのも難しかったというのもありまして、学校によっては土曜授業と最終日が重なってしまったということもありました。来年度につきましても3

回目は全校対象に実施したいというふうに考えておりますので、今年度の反省点を踏まえてより効果的な事業となるように取り組んでいきたいと考えております。以上です。

- 武田教育長 通学合宿は子どもサポート事業に乗ったということですか。
- 安部総括主幹 胆振総合振興局から年度当初に依頼がありまして、道の方で管内の市町に1回はやってもらいたいということで、今年度については通学合宿事業をやっている市町に取り組んでもらえないかという話がありまして、それに合わせてやったということです。
- 武田教育長 いくらか金銭的な補助はあったのですか。
- 安部総括主幹 講師派遣が無料の研修会を行ったということです。
- 武田教育長 3年間ですか。
- 安部総括主幹 この事業自体は3年間ですが、登別市は29年度だけとなっております。
- 武田教育長 新しいことを広げていくという考え方ですか。
- 安部総括主幹 そうです。全市町に1回は実施してもらおうという考え方です。
- 武田教育長 はい。2件の情報提供がありました。何かありましたら。
- 森口委員 通学合宿は人数的には段々減っているというわけではないのですね。
- 安部総括主幹 申し込みは人気があります。資料を見ても増えているか、或いは横ばいとなっています。応募は多いのですが、定員は40名ということでずっと継続しています。ただリピーターで1回来たことのある子が参加するというのが沢山あるので、それで40名枠を超えてしまうと、単純に40名で切ってしまうとちょっと不公平感があるので、1回来たことのある子に対しては今回は遠慮してくださいと調整すると40名から少し減ってしまうということがその年によってはあります。
- 武田教育長 事業としては人気があります。終了後のアンケートも子どもたちの変化というか、家庭では素晴らしくいい事業だと捉えています。なかなか止められない事業です。3泊4日という長さが、1泊2日だったら子どもたちはそんなに変わらないと思いますが、3日目4日目くらいからガラッと変わるというようなことがあるようで、長さが良かったかなと思っています。あと何かありませんか。

- 堅田委員** 通学合宿で私の子どもが第3回目に参加させていただいたのですけども、元々地元の学校がコンパクトな学校なので全地区の小学校の5年生と仲良くなったと。それで帰ってきたら各小学校に友達ができたと喜んで帰ってきました。個人的にももっとみんなどんどん行けばいいのになと思っています。その後偶然にイベントなんかで会ったりすると「あっ、何とかちゃん」と、親にすれば知らない顔ですよ。どこの子という感じがするのですが、「通学合宿で仲良くなった何とかちゃんだよ」といっていい話だと。ぜひ続けてほしいと思います。
- 垣内委員** いまちょっと出ていましたけども家庭から離れて、そして地域のボランティアの方、それから他の学校の方と一緒に生活をするというのは自分のわがままとかも押し殺さなければならなかったりとか、全体のルールの中でどうやって生活していくのかということをもっと体験するいい機会だと思いますので、体験された親御さんがいいシステムだから又参加させたいというような意見があるというのはとてもいいことだと思っています。
- 森口委員** いま子どもが少ない時代で親離れ子離れというのが昔と違ってそういう点では弱いような気がしますね。
- 武田教育長** 事業には2つの狙いがありまして、1つは子どもたちを中心にして社会性とか生活習慣、学習習慣、或いは協調性とかそういうことを学ぶ機会にしていきたいと。一方では地域の教育力をもう少し高めていく、子どもたちに関心を持って、子どもたちの様子を見て、子どもたちの手伝いをするという地域のボランティアを育てたいという2面があったのですが、なかなかボランティアは難しい、それで特定の方をお願いをしながら進めているのですけども。その辺がうまく回ると、例えば将来は運営協議会の中から1人でも2人でも応援してもらえれば、或いはコーディネーターを入れながら全体でサポートできればと、そういう場にもしていければいいと、そうしないと職員がみんなお世話する形になるのですね。これまた大変で。子ども同士の交流の意味もあるけれどももう少し地域の教育力を高めていくと、関心を高めていくと、そんなことがあるのでうまくいけば形が変わっていくと思います。ボランティア厳しいのでしょうか。
- 安部総括主幹** そうですね。今は会場をネチャーセンターということでやっていますけども、それもそれぞれの地域でやるというのも可能なかどうか。やっぱり今後の課題だと考えています。

- 武田教育長** 各校区でやるというのものもあるし、いろんなやり方はあるのですね。それであれば少し地域の方が関わる。その辺試行錯誤しながら進めていければと思います。他にございませんでしょうか。
- 橋場次長** 今月19日に富浦町で事件があって、教育委員会という名前も報道で出ていましたので報告させていただきます。まず警察から青少年センターに連絡が入りまして小学校中学校の方に情報提供してくださいということで、教育委員会から連絡を入れましたが警察の方から既に学校に情報がいってて、残っている子どもたちの保護者に連絡をして迎えに来てもらったということがありました。小学校で2名くらい、中学校で60名くらい部活もありますので、迎えに来てもらうという対応をしましたので、報告させていただきます。
- 武田教育長** 他にありませんか。
- 赤井委員** 家族の日ですが、今年で終わりですよ。料金が安くなるところが魅力なので、何らかの形であってほしいというのが聞こえてきたのですがどうですか。
- 田中学校教育グループ総括主幹** プレ実施の日帰り入浴の部分については既に旅館組合の方から、営業に行きまして確約を得ています。学校が外国語科になって35時間増えるので、平日の1日の喪失は難しいので、それもありまして通常の中で都合の良い時に利用してくださいというような形で考えていまして、プレ実施はそのまま残すと、プラスそれに本実施に参加してくれた施設にもう1度声をかけてそれに参加させていただければ、家庭に負担をかけない、学校にも負担をかけないという形が残るのでそれを想定してテーマパークと話しています。
- 赤井委員** 評判がとてもいいみたいで。
- 武田教育長** 観光庁が進める家族の時間づくりというのは、休日を新たに創出してということがありました。その部分がなかなか今いうように時数の確保ができない。通常の中でその制度の一部を取り込みながら子どもたちに地域体験をしてもらって、そういうことは事業としてやっていきたいということです。他にございませんか。
- 武田教育長** それでは、終了いたします。最後に3月の教育委員会の開催日について予定したいと思いますが、次回開催日について、事務局の方で考えがあればお願いします。

○橋場次長 3月の教育委員会につきましては、3月22日木曜日、会議は16時30分から、また、委員会終了後に校長・教頭等の人事異動に伴う激励会を開催したいと考えております。会場はホテル平安を予定しております。

○武田教育長 それでは、事務局より提案のありました3月22日木曜日で皆様のご都合は如何でしょうか。

(「大丈夫です」との声あり)

○武田教育長 それでは、決定とさせていただきます。詳細につきましては、後日事務局よりお知らせ願います。以上で本日の会議を閉会いたします。お疲れ様でした。